

# 平成 23 年度ホタテガイ採苗情報 (第 6 報)

平成 23 年 6 月 24 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター  
関係漁業協同組合



## 稚貝の付着は依然として継続

### < 調査結果の概要 >

- ラーバは県中部で大型個体が多数出現。
  - 唐丹湾の水深 10m 層の水温は 10.6℃と、例年より低め。
  - 付着稚貝数は県中部では高水準で推移し、県中南部では大幅に増加。付着は継続。
- < 宮城県北部の状況：稚貝の付着が継続 (6 月 17 日発行採苗通報) >
- ラーバは大型個体を主体に 7~53 個/m<sup>2</sup>。個体数は微増。
  - 試験採苗器の付着稚貝数は 64~123 個/袋 (7 日間)。付着は継続。

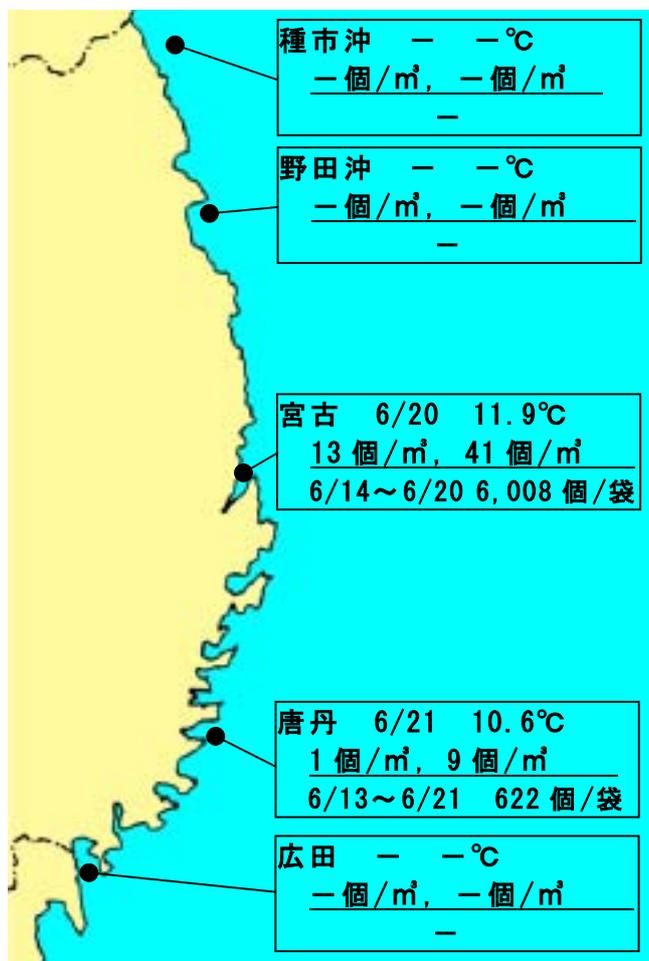


図 1 各定点の調査結果

調査点	調査日	10m層水温
種市沖	-	-℃
野田沖	-	-℃
宮古	6/20	11.9℃
唐丹	6/21	10.6℃
広田	-	-℃

ラーバ出現数 (200μ未満、200μ以上)  
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

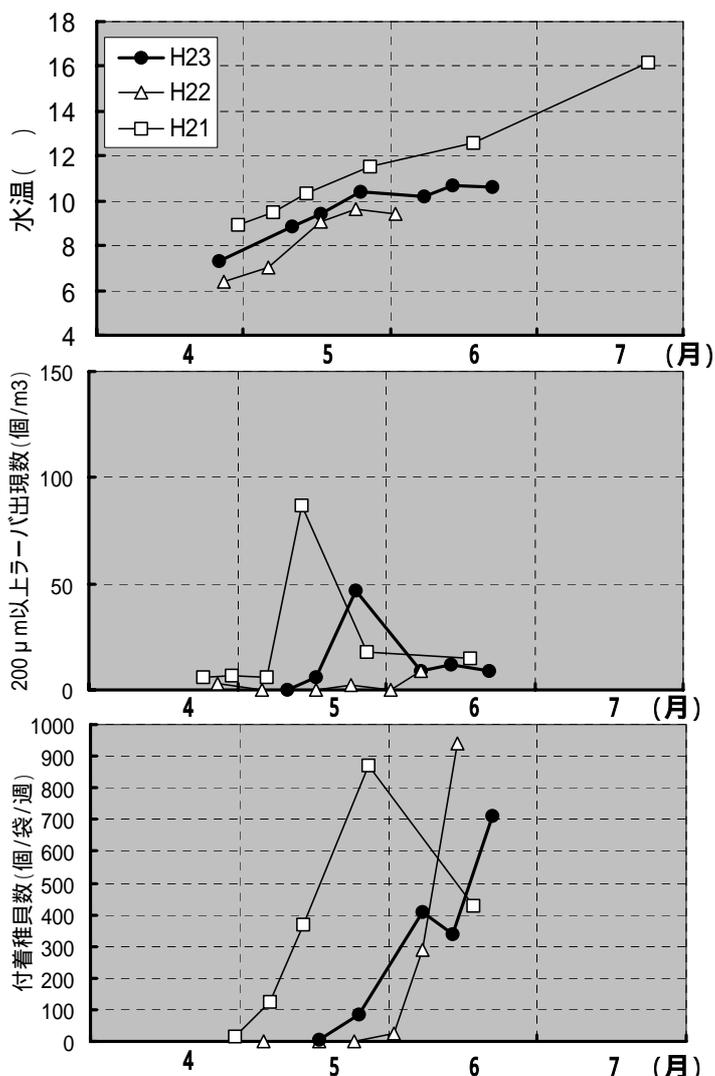


図 2 唐丹湾における水深 10m 層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、7 月 1 日に発行する予定です。